

令和6年度 第58回 中学生の「税についての作文」

『税が支える母子の安心』

町田市立忠生中学校 3学年 川上 美羽

この夏休み、私は母の職場にお仕事体験に行きました。母は助産院で働いていて、その日は出産後のお母さんと赤ちゃんが入院していました。また、予定日近くの妊婦さんも陣痛が来たため入院されて出産もありました。赤ちゃんの誕生の泣き声を聞いて私は感動し喜んでいられるお父さんお母さんの声を聞いて、とても嬉しく温かい気持ちになりました。

助産院ではそこで出産された方だけではなく、他の施設で出産したお母さん達もケアを受けに来られるそうです。母乳のケアや育児相談、産後ケアで入院されたり日帰りでの入院に来られたりすることを聞きました。

この産後ケアのサービスには市の税が使われているそうなので調べました。

産後ケアには宿泊型のショートステイ、日帰り型のデイケア、訪問型のアウトリーチがあります。申請制で産後の利用できる期間内に決まった回数を利用できます。産後のお母さん達は希望に合わせて利用できます。助産院に来ていたお母さん達は赤ちゃんのことが聞けたり、お休みがとれたりすることに

「産後ケアのサービスがあっても安心しました。」とお話をしてくれました。たくさんのお母さんが安心して利用できるのはとても頼もしいと思い、このサービスがもっと使えるようになるとうれしいのではないかと思います。

町田市で集めた財源の目的別の使い道は社会福祉、子育てや生活保護などの民生費に最も多く使われ次いで道路、公園、住宅の建設や管理など土木費に使われているそうです。二〇二三年四月一日〜二〇二四年三月三十一日までの一年間に町田市がサービスをするために使用したお金は千七百九十七億円でした。とても大きな金額で驚きました。税金は皆がもっと暮らしやすくしていくために使われていることを知りました。

私達が出し合った税金が有効的に利用されている場面を見て、赤ちゃんとお母さんが安心できるサービスが優しく守るものであることを感じました。その他にも私達がここまで成長する過程で受けてきたたくさんの方の公共サービスがあったことに気づきました。

私達は税を納める義務と責任があり、その税がどのように使われているのか実際知ること、関心を持つことが大切だと学ぶことができました。

産後ケアについて調べたけれど税金は他の様々な場面で使われているから私達は快適に過ごせているのだと実感し、税金は暮らしかかせない大事なお金なのだと思えることができました。